

令和7年度上井保育園事業計画書

1. 施設理念
子どもの最善の利益を守り、養護と教育が一体となった保育を進めます。
2. 施設方針・テーマ
 - ・ 保育所、家庭、地域と堅密な連携の下に子どもの全面的な成長発達を援助します。
 - ・ 一人一人の子どもが保育所で安定、安心して生活できるよう、保育の質の向上及び専門性の向上を図るよう努めます。
 - ・ 風通しの良い職場環境に努めます。
3. 実施事業及び定員
 - (1) 保育所 定員 75名

0歳児（10名）	1歳児（14名）	2歳児（10名）
3歳児（11名）	4歳児（18名）	5歳児（12名）
 - (2) 保育所事業
 - 延長保育事業
 - 乳児保育事業
 - 障がい児保育事業
4. 重点目標
抱負・目標
 - ・ 子どもの育ちを支えながら基本的な生活習慣を身に付け、自己肯定感を育む。
 - ・ 倉吉市人権教育研究会発表を通し、職員のスキルアップに繋げる。
 - ・ 語り合える職場風土づくりに取り組み、職員同士の協働性を高める。

令和5年倉吉市の出生数が300人を切り、少子化で子どもの数が減り続ける中、発達障害児の数は増え続けている。

令和5年4月厚生労働省よりインクルーシブ保育に関する留意事項等について基準が示され、子ども一人一人の人格を尊重した適切な支援を行う。

令和5年度から3年間、中部教育局指導主事を講師に招き園内研究を行い、令和7年度倉吉市人権教育研究会発表に向け保育の資質向上に繋げる。

風通しのよい職場環境を構築するため定期的に語り合う機会を設け、職員同士の協働性を高め、仕事に誇りが持てる職場づくりに努めていく。

(1) 人財育成と職場定着

- ①職員のスキルアップを図る（研修の充実と外部講師を招き公開保育の実施、倉吉市人権教育研究会発表）
- ②職員の健康増進に取り組む（腰痛予防、職員満足度アンケート年2回実施、誕生日またはリフレッシュ休暇取得推進）
- ③職員同士の協働性（チーム力）を高める（語り合いの場、互助会イベント参加）

(2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）

- ①基本的な生活習慣の自立を図る（天の声作戦を行い、自己肯定感を育む）
- ②遊びを通して子どもの感性を育む（陶芸教室の実施：年4回行い1回は親子で参加、農園活動）
- ③子育て教室の開催（2歳児の保護者を対象に年3回実施）

(3) リスク対策（感染・安全・災害等）

- ①安全計画の定期的な見直しを年間スケジュールを定め行う
- ②自然災害の強化を図る（保護者の引き渡し訓練と報告、夏停電時の対応検討、災害用物品の確保）
- ③実践的な訓練や研修を受講し、事故防止に対する職員の意識を高める（救急訓練、横断歩道マットを購入し交通安全指導、KYT訓練を年4回以上実施、安全管理研修参加）

(4) 施設・設備整備

- ①大型遊具・樹木の剪定（年1回業者点検）、日常の安全管理（遊具・玩具の点検と消毒）を実施する
- ②園舎の老朽化による、修繕の早期発見と迅速な対応を行う（毎週安全点検の実施）
- ③適正な備品管理に努める（ipadmini購入、給食室冷蔵庫買替、樽太鼓修繕）

(5) 地域連携・社会貢献

- ①ボランティア、中高生職場体験、実習生の受入れを行い地域との繋がりをもつ
- ②近隣施設等の交流や地域との連携に努める（シルバー倉吉、上井公民館、老人クラブ、小学校等）
- ③DWAT（災害派遣福祉チーム）登録を行い、地域の災害支援に備える

(6) 経営管理

- ①適正な職員配置及び定員数を確保し安定稼働に努める
- ②予算の執行を管理し、健全な経営に取り組む
- ③職員のコスト意識を高め、経費削減に努める（コストアンケート実施、給食材料購入業者の継続的な見直しをババール園と行う）